

令和3年7月

オンタリオ州のコロナ対策はいわゆる経済再開について、ステップ3に入りました。予定より5日ほど早くステップを進めました。これにより何ヶ月ぶりかで、友人、知り合い達とともに一定の人数制限はありますが、レストランなど屋内で集まることができるようになりました。夏の好天が続く中、これは社会をととても明るくさせるものです。同時に、変異種の問題や国境措置の問題が残っています。コロナ禍はこれでもう終わり、となかなかいかないのがこの問題のようです。ワクチンを受けた方でも引き続き必要な対策をとり、我々のコミュニティーを守っていきたいと思います。総領事館としても必要な情報を引き続き提供して参ります。

1年の遅れはありましたが、東京オリンピック・パラリンピックが開幕いたしました。様々な困難な中での開催となりました。私はオリンピック・パラリンピック開幕の前に以下のような、カナダ・オリンピック関係者の方とお目にかかりました。最新の状況をご報告するとともに、カナダ選手団がベストの状態での競技に望めること、ご健闘をお祈りしたところです。

バン・クーバーデン 多様性・包摂生・青少年省兼遺産省政務官



ご自身、選手として、また、関係者として過去7回ものオリンピックに参加されてきたそうです。4つのメダルを獲得されています。選手としての視点、関係者としての視点など、興味深い話をいただきました。

デビッド・シューメーカー・カナダオリンピック委員会 CEO



多くの選手を日本に送り出し、またご自身も選手団とともに訪日する直前の意見交換でした。カナダの選手 371 名は、カナダからはもちろんですが、競技によっては世界各地から日本に向かったとのこと。371 名の選手は、予選会を突破した選手であり、それだけカナダのレベルも向上していることがわかります。



7月20日にはフォードオンタリオ州首相と意見交換する機会に恵まれ、オリンピックの最新の状況を共有いたしました。フォード首相との会談については機会を改めてご報告したいと思います。

カナダからはロサンゼルス・オリンピック以来最大の 371 人もの選手団が東京オリンピック・パラリンピックに参加しています。テレビで人気を博した「ドラゴン桜2」の中で、ヒロインの1人のお父さんが、東大入試は毎年あるがオリンピックは4年に1度しかない貴重な機会だ、と娘さんを励ます、と言う場面がありました。オリンピックの選手団・関係者は完全ないわゆるバブルの中にあります。関係者との意見交換で、もともとオリンピック・パラリンピックは世界の何十億と言う人々が応援していますが、実際に会場

で応援できる人たちはいずれにしても一握りです。以前から、オリンピックの感動や素晴らしい競技の様子をどのように共有できるかは課題となっていたそうです。コロナの中の開催となりましたが、今回の大会が新しいオリンピック、新しい観戦の仕方、新しい感動の共有を示す大会になることを期待したいと思います。なお、カナダの関係者にはカナダはかなり大きな選手団を送り込むようだが、これを迎え撃つ日本選手団もかなり手強いことを警告しておきました。

トロント総領事  
佐々山 拓也